

# 学校名 西之表市立安城小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>安城小学校は、「総合的な学習の時間」の学習を柱とし、地域素材を生かした環境教育を実践している。</p> <p>海岸近くに位置する本校では、環境教育の中で年間を通して「海」を学習の場として活用している。活動の中で、多くのごみが海岸に漂着している現状に気付かせることで、子供たちが環境問題に関する意識を高め、環境保全活動に意欲的に取り組むことができている。</p> <p>また、社会教育において、平成29年に地域・家庭・学校が一体となって子供の健全育成を推進する組織である「安城カシミアクラブ」を立ち上げた。その中で、地域行事において子供たちの清掃活動を位置付けるなど、校区を挙げて子供たちの環境美化に関する意識を高める取組を行っている。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月  ② 活動の愛称名があれば記入して下さい  ③ 月間又は年間活動回数	<p>50年ほど前から、子供たちに黒潮の流れを実感させ、海外の人々との交流を行うことを目的に、メッセージ等を挿入した瓶を放流する「漂流びん流し」を実施している。平成20年からは、「漂流びん流し」やその他の海岸を活用する活動を行う際、ふるさとの自然環境に配慮する視点を重視し、総合的な学習の時間において海岸清掃活動を開始した。</p> <p>また、子供たちの地域の環境保全に向けた取組への参画意識を高めるために、安城カシミアクラブとして、地域の神社で行われる「六月灯」や「春・秋の大祭」といった地域行事において、清掃活動を実施している。</p> <p>特になし</p> <p>毎年5～6月に実施している伝統行事「漂流びん流し」を行う際に、安城港の海岸清掃を実施している。また、年2回、鉄浜海岸や安城港で「一日遠足」を行う際にも、海岸での活動をする際に海岸清掃を実施している。</p> <p>安城カシミアクラブでは、校区内にある神社の清掃活動を実施している。4月・10月の「春・秋の大祭」時に諏訪神社を、そして7月の「六月灯」時には岡山神社の清掃活動を行っている。</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	学校付近の海岸（安城港，鉄浜海岸） 校区内の神社（諏訪神社，岡山神社）
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	40人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	40分
⑦ 収集ごみの処分	分別して，種子島清掃センターに搬入
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>地域・家庭・学校が一体となって，ふるさとの自然環境を守る取組を進めることができている。また，半世紀にわたって行われている伝統的な行事である「漂流びん流し」を学習のきっかけとして環境保全の活動を行うことにより，子供たちがふるさとのよさに気づき，地域の伝統を守り続けていく意欲の向上にもつながっている。</p>
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	<p>安城港には多数のごみが漂着している。海岸清掃では，毎年2トントラックがいっぱいになるくらいのごみを回収しており，子供たちの清掃活動が環境美化に貢献するとともに，景観の保持につながっていると考える。</p> <p>また，子供たちが清掃活動を通して地域行事の実施に携わることで，子供たちに次世代の安城を担っていく意識や責任感が高まっていく様子を感じることができている。</p>
② 地域住民との協力活動	<p>海岸清掃は，校区住民や保護者，卒業生，未就学児と一緒に取り組んでいる。</p> <p>神社清掃は，校区役員が校区行事の準備を行っている時に，子供たちが神社周辺の清掃に取り組んでいる。</p>
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<p>地域の行事や環境美化に子供たちが積極的に関わっていることに，地域住民からは感謝の声が上がっている。</p> <p>また，地域住民は本校の卒業生が多く，かつて自分たちが行っていた活動を，子供たちが引き継いでいることに喜びや誇りを感じている方が多い。</p>

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>海岸清掃活動を実施し、集めたごみの種類や量等について調査や分析を行うことで、ごみ問題に関する子供たちの興味、関心が高まる。</p> <p>また、総合的な学習の時間において、SDGsの視点を通して、ごみ問題に限らず、幅広い分野で持続可能な世界を築くために必要なことは何かを子供たちに考えさせている。</p> <p>それらのことを踏まえて、ふるさとの自然を自分たちで守るための取組の計画を立て、実践していこうとする子供の育成につなげている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>ごみ問題を通して、ふるさとの自然環境を悪化させてしまうことに気付くとともに、ごみをできるだけ出さない生活や、ごみ問題の改善に向けて自分たちにできることを考え、実践する姿が見られるようになった。</p> <p>また、ごみ問題について、学習に自分たちの考えも交えながらプレゼンにまとめ、学習発表会において発表することができた。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>始業前に週3回清掃ボランティア活動を行っている（学校内や周辺）。</p> <p>また、ヘチマを活用した校舎のエコカーテン作りを行っている。</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	<p>表彰歴なし</p>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p>年間指導計画への位置付けを行い、計画的に学習を進めている。</p> <p>（1，2年生…創意，3年生以上…総合的な学習の時間）</p>
3 その他特記事項	<p>特になし</p>

# 環境美化教育活動状況

西之表市立安城小学校

## 1 本校における環境美化教育活動実施の視点

地域の伝統や文化，自然を生かし，校区や保護者と一体となった環境美化教育活動の推進

## 2 学校教育活動での実施状況（海岸清掃活動）

### (1) 教育課程への位置付け

学年	教科等	目標等
1・2年	創意 「海岸清掃ボランティア」	海岸清掃活動を通して，児童が黒潮の流れを実感しながら，ふるさとの自然や環境に関心をもつことができる。
3・4年	総合的な学習の時間 「安城じまんをしよう」	伝統行事を体験したり，ふるさとのよさについて調べたりする活動を通して，自分たちの住む身近なふるさとのすばらしさや，様々なよさや問題点に気付き，課題を解決しながら，自分たちが日常生活でできることを考え，実践することができる。
5・6年	総合的な学習の時間 「ふるさとの環境を守ろうプロジェクト」	身近な地域で起きている環境問題について，自分も環境に影響を与えていることを自覚し，環境問題について調査・研究し，よりよい環境を追求するために様々な働きかけを工夫し，実践することができる。

### (2) 実施時期

毎年，5月～6月に行われる日曜参観時に実施

### (3) 場 所

安城港周辺の海岸

### (4) 主な参加者

本校児童，保護者，校区役員，未就学児，卒業生，本校職員

(5) 活動の実際



海岸到着後、まずは同日に実施している漂流びん流しにおいて、卒業生の方が出してください船の見送りの式を行う。船が太平洋へと出航していく様子を見ながら、児童は自分たちと海のつながりを実感している。



海岸清掃の方法等について説明を受け、活動を開始する。一見きれいに見える海岸であるが、よく見ていくと、たくさんのごみが漂着している。海岸の様子を見ながら、児童は「こんなにごみがあるのだ。」と驚きの声を上げたり、「ごみをたくさん集めて、きれいな海岸にしていこう。」と活動に対する意欲を高めたりしている。

また、校区の方々や保護者、未就学の子供たちも一緒に活動し、地域を挙げて環境をよりよくしようとする雰囲気を感じることができる。



5・6年児童は、漂着ごみの分析も行っている。安城港は特に漁具のごみが多く、児童からは「どうすれば、釣りをしている人たちにごみを減らしてもらえるかな。」などのつぶやきがあった。また、外国から流れ着いたとみられるごみも多く漂着しており、種子島は海を通して世界とつながっていることを児童が実感していた。



最終的には、2トントラックが満載になるほどの量を収集し、活動を終えた。児童は、ふるさとの自然環境をよりよくするために、自分たちにできることを実践できた達成感を味わっていた。この活動をきっかけとして、学年の発達の段階に応じた学習へとつなげていく。

### 3 地域と連携した実施状況（地域の伝統行事である六月灯での清掃活動）

#### (1) 実施時期

毎年7月15日

#### (2) 場所

校区内「岡山神社」

#### (3) 主な参加者

本校児童、保護者、校区役員、未就学児、卒業生、本校職員

#### (4) 活動の実際





神社周辺のごみ拾いや落ち葉集め等を行った。中学生や未就学児の参加もあり、上の学年の子供が下の学年の子供に教えながら活動を進める姿が見られ、校区に住む幅広い年代の子供たちが、協力しながら活動を行う場として貴重な機会となった。



ごみ一つないきれいな環境となった岡山神社で、神事やPTAが主催した夜店が行われた。児童は校区に住む一員として、校区の伝統行事実施に貢献できたことに喜びを感じ、児童自身も六月灯を味わい、楽しむことができた。

#### 4 成果等

- 異学年の児童が同じ活動をしなが、発達の段階に応じて環境問題への興味や関心、環境保全への実践意欲を高めることができた。そのことが、普段の学校生活においても、始業前の清掃ボランティア活動に自主的に取り組むなど、環境をよりよくしようとする意欲の高まりにつながっている。
- 学校だけではなく、校区や保護者と連携して取り組むことで、より活動を深めることができた。親子で環境問題について考えるきっかけとなったり、ふるさとのよさを実感し、校区全体で美しい安城を守っていかうとする気持ちを共有したりすることにつながっている。